

コロナ禍の中で本当に本当によく頑張った！学期！

-そして、夏休み！「コロナでも」「コロナだから」できることにチャレンジ-

校長 加藤 隆史

本日、1学期の終業式を行いました。保護者や地域の皆様に温かく見守られて、無事に1学期を終えることができたことに感謝申し上げます。

終業式に子どもたちに以下のような話をさせていただきました。長文となりますが、ご一読くださり、ご家庭や地域の皆様も共有していただければ幸いです。

この1学期、コロナの中、本当によくがんばりました。そんな一人一人のがんばりは、すでに配られたキャリアパスポートに担任の先生から書いてあったことと思います。

私からは、この1学期にみんなでがんばって、全校で成長できたことを二つ話します。

一つ目は、この1学期、土岐小学校に「みんなちがってみんないい」の合い言葉が広がったことです。「自分のまわりには、いろんな友だちがいて、それぞれにちがうこと」そして「それぞれによさがあること」「友だちがうれしくなるためには、どんな言葉をかけていけばいいか」ということをみんなで考えました。土岐っ子の4つの自慢の一つである「友だちを大切に作る心」がさらに高まったことをとてもうれしく思っています。2学期は、何かをしてくれたり、やさしい言葉をかけてくれたりした友だちや先生に気持ちをこめて「ありがとう」といえる土岐小学校にするために「ありがとう」の花をたくさん咲かせたいです。

二つ目は、タブレットつまりコンピューターをがんばって使い、全校で成長できたことです。文字をうちこんだり、写真をとったり、インターネットでしらべたり、そして朝の会や家で、タブレットを通して先生や仲間と出会うこともできるようになりました。みなさんとともに先生達も成長できました。もちろん前から得意な人もいたことでしょう。そんな得意な人が苦手な人に教えてもらいながら、お互いに教え合う力もついてきたと思います。

2学期からもタブレットは使っていきます。6年生のある子が「校長先生、タブレットでプログラミングってやってもいいですか」とたずねてきました。そうやって自分からもっと学びたいという気持ちをもつことが大切です。みなさんも、タブレットで「こんな学習がしてみたい」ということがあれば、ぜひ教えてください。みなさんとともに、先生たちも学んでいきます。

夏休みは1学期に続いて、コロナにうつらない、広げないという生活が続きます。「手洗い・消毒 マスク 3つの密をさけること」と健康チェックは必ず続けます。残念ながら今年の夏休みは、ラジオ体操はありません。プールもありません。でも、コロナでもできる運動はあります。そんな運動をみつけて取り組んでみましょう。さらに夏休みの作品や研究では、コロナウイルス感染症のことを研究したり新聞記事を集めたり、感染を防ぐための発明工夫を考えたりすることもできます。このように「コロナでもできる」「コロナだからできる」ことにチャレンジしてみましょう。

そして何より大切なことは、自分や周りの命を大切にすることです。そのためには、この後の大野先生のお話をしっかりと聞き取りましょう。それをきちんと守って、8月30日には必ず元気な顔であいさつをかわしましょう。

本日、「こどものすがた」を担任から渡しました。ぜひ、お子さまとご一緒にご覧いただく中で、「この1学期、お疲れ様。いろいろたいへんな中でよくがんばったね。」と声をかけてくださるとありがたいです。きっと、そんな一言が子どもたちの次への力になるはずです。